



日時 2012年10月27日(土)
10:00 ~ 15:00

かぐら
(オープニング神楽)

場所 三田市総合福祉保健センター
(三田市川除 675 パスカル三田 向い)



体験・イベントコーナー

- ✓ おもちゃあそび
- ✓ 車いす・アイスクリーム体験
- ✓ なつかしの昭和歌謡曲演奏
- ✓ おまこい、民謡 などなど!

体験コーナーのほかに
も、フリーマーケットや
屋台、縁日もあるよ!!
(11:30~)

「さんだボランティアまつり(ボラタンフェスタ)」は、
多くの人がボランティアについて知ることのできるおまつりです。

- ボランティアやってみたい! と興味のある方
- どんなボランティアがあるのか一度見てみたい方
- どんな人がやっているのだろうか? とおもう方...

どなたでもお気軽にお立ち寄りください。
あなただけの新しい出会いや発見が、きっとあります。

三田ボランティア連絡会 20周年記念事業

特別講演会

11:00~12:30



講師: 漫談家で介護福祉士 メイ三氏

テレビやラジオにも出演し、舞台
や各種イベント等で司会・漫談家
の活動をする傍ら、介護福祉士と
して、高齢者介護に携わっている。
※講演中の託児あり

あなたも当日スタッフとして
活躍してみませんか!

ボラタンフェスタ当日にボランティア
スタッフとして盛りあげてくださる方を募集し
ています。ボランティア未経験の方も大歓迎! 楽
しい仲間と一緒に達成感を味わってみませんか!

内容: イベントサポート、会場セッティング等

時間: 9時集合 (~17:00 ごろまで)

申込: 10月13日(土) までにご連絡を

連絡先: ボランティア活動センター

電話 564-0410

待ってるよ



主催 / さんだボランティアまつり実行委員会、三田市社会福祉協議会、三田ボランティア連絡会
後援 / 三田市、三田市教育委員会、三田市民生委員児童委員協議会、ハニーFM

さんだボランティアまつり「ボラタンフェスタ」は、赤い羽根共同募金が使われています

さんだボラセン

だより

風



発行
三田市社会福祉協議会
三田市ボランティア活動センター
〒669-1514
三田市川除 675
三田市総合福祉保健センター1階
電話 079-564-0410
ファックス 079-559-5945
URL <http://www.sanda-shakyo.or.jp/>
Email vcen@sanda-shakyo.or.jp

vol.21 2012年 秋号



▲子どもボランティアチャレンジ「やってみ!ひろのっ子」での活動風景

夏休み

今年の夏休みは
何かチャレンジしたい
いつもと違う夏にしたい
いつもは出会わない人と
たくさんお話したり
いつもはできないことを
たくさんやってみたり
できるかな、私

「何年生?」
「どこから来たの?」
「えらいねえ」
「私の小学校の頃はな
え...」

笑顔がいっぱい
笑い声に囲まれて
なんだかうれしく
楽しい一日

ボラメン・ボラガール養成講座



今年度の新たな取り組みとして、「優しい思いやりの心をカタチに！」をテーマに若年世代を対象に講座を企画しました。

学校などで取り組まれている福祉学習などを通して、幼いころから育んできた“優しさと思いやり”を自分たちが生まれ育ったこの地域でボランティア活動としてカタチにしてみたい。色々な経験を重ねてボランティア活動をして欲しい。

そして、自分らしく輝いてもらいたい。そんな気持ちを込めて4回の講座を重ねました。

講座に集まったボラメン＆ボラガールたちは受講後、ボランティア活動を重ねて、キラキラと輝いています。そして、共に支え合いながら、ボラメン＆ボラガールのつながりを深めています。

講座内容

- ①ボランティア活動って何？～私たちにできること～
- ②企画・広報ボランティアの極意を学ぶ
- ③はなし相手ボランティアの心得
- ④これからの活動に向けて

ボラメン＆ボラガール養成講座 3 回目の「はなし相手ボランティアの心得」を受講して、ミニカウンセリングを体験する中で、聴き手が私の話に共感してくれることに心地よさをおぼえた。

きれいな言葉をかけてもその人は救われない。ただ、隣にいてだけでいいから気持ちを考えることが大切だと感じた。講座で、出会った人たちのおかげで孤独ではなくなり、自分のやりたいことを支え合ってできる気がした。支え合うって楽しいと思った。そして、ひとり親家庭の子どもたちとふれあう活動や被災地の清掃ボランティア活動をした。被災地の現状を知り、たくさんの人と出会いたくさんの笑顔と元気を分け合った。

これから、昔の私のように孤独が当たり前だと思っている人、辛いことを辛いと言えない人に支え合う楽しさを知ってもらいたい。私にしかできない支えをしたい。何ができるかわからないけど、人のために行動したい。

(兵庫県立西陵高校 2年 入江晶子)



子どもたちとふれあう活動やボランティア活動もやってみ！

長い夏休み、広野地区在住の子どもたちを対象に、地域の方たちと一緒に様々な活動に取り組む中で、高齢者や障がいのある方の理解を深め、交流できる機会づくりとして企画しました。

実施には、広野小学校校友情会、ふれあい活動推進協議会等の協力いただき、広野小学校6年生11名、5年生2

名、4年生1名の参加をいただくことができました。

東山荘の夏祭りや三田温泉シルバーステイでの日中活動、高齢者サロンなどにボランティアとしてチャレンジしました。

バザーに出す小物を利用者と一緒につくり、趣味でされているお習字のお手伝いや野菜の収穫、夏祭りでは

金魚すくいやスイカ割りなど利用者と一緒に楽しみました。

これからいろいろな人と確かめあったり、つながりあったりできる。そんな風になってほしいと願っています。

やってみ！

ひるのっ子

東山荘の皆さんからコメントをお寄せいただきました

今年の夏は、東山荘に爽やかで愛くるしい笑顔と優しく元気な声が届きました。

東山荘は、20歳から87歳までの知的障がいのある方が約50名、入所されている施設です。施設の中で生活されている時間が多く、地域に出かけて地域の皆さんとふれあう機会はなかなかありません。しかし、今年の夏は広野小学校から8名の生徒の方がいらしてくださいました。

施設を訪問するのは初めてではないと伺っていましたが、あっという間に施設の中に溶け込まれました。利用者の方と一緒にバザー用の作品づくりをしたり、食事の介助、余暇時間の学習(計算)を教えていただいたり、バیتالチェック(検温・血圧測定など)のお手伝い、夏まつりの夜店のお手伝いと利用者の生活を幅広くサポートしてくださいました。

また、「何をしたらいいですか？」と積極的に行動してくださり、明るく純粋な気持ちで、何の先入観もなく触れ合われている姿を見ていると、人と人のふれ合いの本質を見ている様に感じ、私たちスタッフも感激と同時に、利用者の方との関わりを振り返る機会ともなりました。

利用者の方は「今度いつ来てくれるのかな？」と首を長くして待っておられます。お話ができない利用者の方も、元気にお話をされる姿を目で追っておられ、自然と表情が和らいでいく利用者の変化をみていると、単調な生活の中での癒しや安らぎのひとつになっているようでした。

人と人のふれあいの大切さを改めて感じ、東山荘にとってもとても思い出深い夏となりました。

行楽の季節となりました 兵庫県ボランティア活動等行事用保険 をご存知ですか？

この保険は、行事活動中のボランティアスタッフや参加者がケガをされた場合(傷害保険)および、行事開催中に参加者または第三者の身体や財物に損害を与え、主催者が法律上の損害賠償責任を負った場合(損害賠償保険)に備えて加入いただくものです。
安心して活動いただくため、ぜひご加入をお願いします。

【手続きの手順】

- ①所定の「加入申込票」(ボランティア活動センター及び市内地域福祉支援室に備えています)に必要な事項(日程、活動内容、代表者名、保険料など)を記入してください。
- ②所定の振込用紙で保険料を団体から直接お振込みいただき、「振込受領書」と「加入申込票」を提出ください。
- ③受付捺印後、加入票を所定の封筒で郵送してください。(※80円切手を準備ください)

【注意事項】

手続きは、行事の7日前までに行ってください。

【その他】

○行事が中止または延期された場合は、ただちにご連絡ください。また、行事が中止になる可能性がある場合は、返金振込先をご記入ください。
○宿泊を伴わない1日行事は、行事内容により保険料が異なります。

【お問い合わせ・申し込み】

三田市ボランティア活動センター
住所 三田市川除675番地総合福祉保健センター内
電話 (079)564-0410
ファックス (079)559-5945

